

議会ウォッチ

41号

2015年7月

平成27年7月15日発行



ココに注目!

期待のニューフェイスに聞く《東峰見聞録》 P2

6月定例会トピックス P4

ここが聞きたい! 《一般質問》 P6



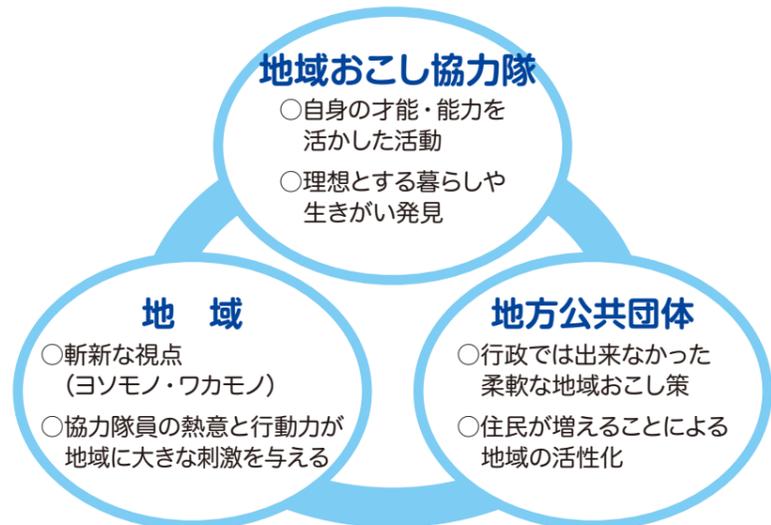
東峰村地域おこし協力隊



しみず しょうや
清水 翔 23歳 大阪府出身
趣味はライブ鑑賞
現住所は宝珠山 板屋地区
消防団・バトミントクラブに参加



ふくなが しゅんすけ
福永 俊介 30歳 大阪府出身
趣味はライブ鑑賞
現住所は小石原 南の原地区
消防団・青年団に参加



地域おこし協力隊とは？
都市住民など地域外の人材を地域社会の新たな担い手として受け入れ、地域力の維持・強化を図るものです。

どんな活動をするの？

具体的には、地方自治体が都市住民を受入れ、地域おこし協力隊員として委嘱し、一定期間以上、農林漁業の応援、水源保全・監視活動、住民の生活支援などの各種の地域協力活動に従事していただきながら、当該地域への定住・定着を図っていくものです。

協力隊の報酬や活動費は？

協力隊の報酬および活動費については全額国より財政支援を受けています（1隊員につき最大3年間）。

今までしてきたことは？

福永 食品工場で品質管理の仕事を8年間していました。その後お肉屋、唐揚げ屋、パン屋を転々としていました。

清水 自動販売機の補充や宅配便の荷揚げのアルバイトをしていました。

地域おこし協力隊に参加しようと思ったのは？

福永 以前、食品関係の仕事に従事していた時に色々な葛藤がありました。自分の中では国産の美味しい食べ物や野菜の生産者ともっと関わられる仕事がないという思いがあり参加しました。

清水 アルバイトをしながら仕事を探している中で、友達から「地域おこし協力隊」を教えてもらったのがきっかけです。以前から地域おこしに興味があったので、地域を応援したいという思いで参加しました。

色んな地域の中から東峰村を選んだ理由は何？

福永 以前従事していた仕事を通じて東峰村の方との親交があったのが大きな理由です。東峰村には陶器やキノコなど、村の魅力を感じていました。

清水 以前から福岡が好きで、将来住みたいと決めていました。「村」というのにひかれて、過疎化している村を応援したいという思いで選びました。

東峰村に来て感じたことは？

福永 東峰村は、もともと2つの村が合併している自治体なので、2つの物語があって面白さを感じています。

清水 住み始めた時は正直不安もありました。3ヶ月住んで感じていることは、都会にはない人との距離感や人の温かさに癒されています。

「地域おこし協力隊」として今取り組んでいることは？

福永 東峰村をアピールし、来てくれたお客さんにもっと村のファンになっていただくよう取り組んでいきたいです。また、他の自治体の「地域おこし協力隊」との連携も強めています。

清水 これからは村の高齢者の庭先野菜を集め東峰村のアピールと販売に繋げていくとともに、これからもっと村民の方と触れ合って交流を深めていきたいです。

今後東峰村で取り組んでいきたいことは？

福永 東峰村の観光をもっと強め、多くの方に東峰村に来ていただき、村のファンを増やしていきたいような企画に取り組んでいきたいです。

清水 村内の庭先野菜の集荷を進めていきたいです。今後は自分も畑をやってみたいと考えています。

6月定例会議決結果一覧表

賛成：○ 反対：●

議案番号	採決議案	長澤貞義	佐々木紀嘉	高倉寛視	梶原文明	高橋弘展	黒川隆康	梶原光春	伊藤均	柳瀬弘光
31	東峰村長期継続契約を締結することができる契約に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
32	東峰村保健福祉館条例を廃止する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
33	村道の路線の認定について《椎木山線(竹地区)》	○	○	○	○	○	○	○	○	○
34	財産の取得について《小型動力ポンプ付積載車(第三分団)》	○	○	○	○	○	○	○	○	○
35	東峰村過疎地域自立促進計画の変更について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
36	平成27年度東峰村一般会計歳入歳出補正予算(第1号)について 【修正可決】	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意 2	東峰村教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○
承認 1	専決処分の承認を求めることについて (東峰村総合計画審議会条例等の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	○	○	○	○
承認 2	専決処分の承認を求めることについて (東峰村国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	○	○	○	○
承認 3	専決処分の承認を求めることについて (東峰村税条例の一部を改正する条例)	○	○	○	○	○	○	○	○	○
報告 1	平成26年度東峰村繰越明許費繰越計算書報告	-	-	-	-	-	-	-	-	-

6月定例会トピックス

平成27年度6月定例会は6月10日から15日までの会期で開催しました。

一般会計補正予算1件、条例制定等5件、同意1件、承認3件、報告1件を慎重審議し、一般会計補正予算を修正可決し、その他は原案どおり可決しました。また、9人の議員が一般質問を行いました。

補正予算

農業振興対策費(追加分)292万9千円を0円に修正

補助金の公平性、緊急性を勘案

平成27年度東峰村一般会計補正予算の中で、農業振興対策費(農業振興補助金・小規模農地維持保全事業費)を修正可決しました。

農業振興対策費については、東峰村の基幹産業である農業を振興する為の予算で、平成27年度予算審査時(3月議会)、205万円アップの1277万円(前年対比119%増)の増額と補助率アップを農業振興対策として全会一致にて可決しました。

しかし、今回の補正予算については、農業振興補助金(ビニールハウス設置補助・予冷库購入補助)、小規模農地維持保全事業費(畦畔コンクリート工事・農地石垣の間詰めコンクリート補助)は、農業振興協議会の承認を受け実施している事業であり、協議会への説明時においても予算の範囲内で実施すると説明。



※事業を行う場合は、事前に申請が必要となります。事前申請がないと、補助が受けられないのでご注意ください。また、予算の範囲内での対応となります。※この事業は、振興作物の生産(出荷)拡大が目的です!

農地保全事業チラシ(抜粋)

項目	26年度補助率	27年度補助率	備考
雨よけハウスの補助見直し	30%	70%	事前相談・建替え含む
振興作物の予冷库購入助成	制度なし	70%	振興作物に限る
振興作物の種苗購入補助	30%	50%	
石垣間詰めコンクリート補助	制度なし	50%	補助対象事業費
有害鳥獣防護対策事業	個人3万円	5万円	3,500円/㎡以内 防護柵のみ
	共同6万円	8万円	

※上記補助率に関しては平成27年度からの3年間を試行期間とする

ここが聞きたい!

一般質問

1. 伊藤 均 議員
高齢者の交通支援策の活用状況は
2. 佐々木 紀嘉 議員
マイナンバー制度とは何か
3. 長澤 貞義 議員
小石原道の駅に急速充電器が設置できないか
4. 黒川 隆康 議員
大行司地区の危険家屋対策は
5. 高橋 弘展 議員
毎月全戸配布される折込み文書を減らせないか
6. 柳瀬 弘光 議員
空き家活用で定住人口増加に繋げられないか
7. 梶原 光春 議員
旧宝珠山少ランドをランドゴルフ場にしてはどうか
8. 高倉 寛視 議員
住民監査・住民訴訟を住民に要請したのか
9. 梶原 文明 議員
村の将来の職員数は



高年齢者の交通支援策の活用状況は
——保健福祉課長 5月末において36%の利用率である

議員 タクシー利用料金の一部を助成する地域交通対策事業の要綱は。
保健福祉課長 村民であり、運転免許証を有しない方で、おおむね65歳以上、かつ、バス停・鉄道駅からおおむね1km以上離れた交通空白地域の居住者である。

議員 家族内に運転免許を有し、自家用車がある場合の取扱いは。
保健福祉課長 事業要綱に合致していれば、家族内に運転免許を有していても申請は可能である。

議員 利用券の交付枚数は月間8枚だが、1日における利用枚数は。
保健福祉課長 要綱上では、1日における利用枚数の規定はないが、想定としては週1回の利用で往復利用を勘案して1日2枚と考えている。



タクシー助成利用者証(見本)

議員 高齢者支援タクシー助成事業についても目的及び利用対象者以外は、地域交通対策事業と同様の取扱か。
保健福祉課長 利用要綱については、同様である。
議員 課設置条例改正後の担当部署は。
村長 保健福祉課で窓口は一本化している。



マイナンバー制度とは何か
——村長 国が社会保障 税番号制度の基盤として導入するもの

議員 マイナンバー制度とはどのような制度なのか。
総務課長 住民票を有するすべての方に1人1番号のマイナンバーを、住所地の市町村長が指定するもの。

議員 マイナンバーの情報漏えい対策は。
総務課長 基本的には番号法にのっとるものだが、どの市町村も特定個人情報保護評価を行わなければならないようになってきている。電算上で保護評価は行うもの。



小石原道の駅に急速充電器が設置できないか
——村長 設置が望ましいと理解している

議員 子や孫たちのために低炭素社会を目指し、地方創生の拠点となる道の駅に急速充電器を設置すべきではないか。
村長 環境対策の面から電気自動車やプラグインハイブリッド車の普及が進んでいるが、観光、環境の立場からも設置は望ましいと思う。

議員 公用車を電気自動車にすれば災害の停電時に車から電気を供給する事が出来る。
村長 道の駅を含めた地域再生計画の中で検討していきたい。

議員 身分証明書代わりに使えると言われている「マイナンバーカード」発行はどうなるのか。
総務課長 カードは顔写真が入る。カード発行を申請していただき、交付準備が出来たら役場から通知するので、ご来庁いただき本人確認のうえ交付する事になる。



個人番号カード(イメージ)

企画政策課長 地方創生関連事業の中で、電気自動車の充電器の設置項目がある。この事業の展開をするには、地域再生計画を立てる必要がある。道の駅小石原にどのような機能を担わせるか、具体的に構築しなければならぬ。





黒川隆康 議員

大行司地区の危険家屋対策は

—— 村長 再度所有者の方と協議をする

議員 空き家対策特別措置法が全面施行されたが、現在、村内に何軒の空き家があり、そのうち危険家屋はどれくらいあるのか。

村長 空き家は62軒だが、危険家屋が何軒あるか把握していない。

議員 行政として、危険家屋の把握は常において頂きたい。また、この度の特措法により、地方自治体の権限が強化され、行政代執行等も可能になった。この事を踏まえ、以前よりお願いしていた危険家屋について再度、所有者の方と交渉していただけないか。

村長 村としても危険家屋の放置は看過できないと思っ

ている。



議員 旧宝珠山村役場庁舎、旧宝珠山中学校校舎の取り扱い及び旧宝珠山小学校跡、旧美星保育所跡の活用は。

村長 旧宝珠山村役場庁舎、旧宝珠山中学校校舎は老朽化のため解体せざるを得ない。その他は文化的、福祉的な利用を考えたていきたい。



高橋弘展 議員

毎月全戸配布される折込み文書を減らせないか

—— 村長 減らす努力を今後も続けていきたい

議員 朝倉市では折込みに行っている文書は県政だよりなどしかない。広報紙を見れば村の情報に分かるという仕組みの方が内容を把握しやすいのでは。

企画政策課長 折込みのものは情報量が多く紙面に入りきららない。

議員 情報媒体の得意・不得意をうまく活用して、本当に広報紙に載せないといけない情報かどうか、検討できないか。

企画政策課長 広報紙には締め切りがあり、それ以降は来月になる。どうしても知らせなければならぬものは折込みになる。

議員 毎年行っている事業は、あらかじめ広報の紙面を確保することもできる。折込みしか



ないというのでは連絡員さんの苦労は減らないのでは？

企画政策課長 詳細を知りたい方は役場に来ていただくことや、役場カウンターにチラシを置く等の方法を取っていききたい。

議員 庁舎等公共施設に使われずに置いたままの備品は、払下げなどで村の収入にして、空きスペースを使えるようにしては。

村長 まず調査して、村の人が使えるものがあれば使えるように考えたい。



柳瀬弘光 議員

空き家活用で定住人口増加に繋がらないか

—— 村長 空き家バンクの取組みを行っていききたい

議員 第2次東峰村総合計画の平成36年度の目標総人口数の2050人の算出方法は。

村長 統計学の方法であるコーホート要因法によって推計をしている。

議員 0〜14歳までの目標人口数が平成36年には170名と計画にはあるが、現状よりも55名少ない目標で良いのか。

村長 子どもの数を増やすためにも、特に20代〜30代の女性を村に呼び込まなくてはならないと考えている。

議員 空き家は放火による火災や不法侵入等、様々な問題に繋がる可能性がある。空き家を活用する事で、定住人口の増加に繋がらないか。

村長 村内全域で62軒の空き家があり、売却または貸しても



良いという所有者は今のところ2軒しかない。今後は空き家バンクの取組みを行い、対策に力を入れていきたい。

議員 老朽化した村営住宅の改修は行っているのか。

村長 30年の耐用年数を超えた住宅については、建て替えを検討していきたい。



梶原光春 議員

旧宝珠山小グラウンドをグラウンドゴルフ場にしてはどうか

—— 村長 検討してみる必要はある

議員 庁舎統合の考えと、統合した場合の問題点は。

村長 現時点で統合の考えはない。一番の大きな問題は、住民の精神的な影響ではないかと思う。

議員 課設置条例改正後の効果と検証は。

村長 庁議の中では、活発な意見交換が出来ている。効果は時間が経過してみないとわからない。

議員 地域おこし協力隊の配置と今後の活動は。

村長 農林観光課に配属。東峰村のPRや農作業体験を通して、今後、高齢者農家へ出荷支援も行っていく予定。

議員 村長としての陳情活動は行っているか。



村長 ライスセンター建設については、農水省や国会議員にも陳情し、要望した交付金が満額となっている。

議員 旧宝珠山小学校跡地のグラウンドに芝生を張り、グラウンドゴルフ場にしてはどうか。

村長 予算的な面からは難しいと思うが、検討してみる必要はあると思う。

伝わる議会広報に向けて新たにチャレンジ!!



議会ウォッチのお知らせ放送より

今後の議会広報についてのご意見を伺うため、今年5月に議会広報についてのアンケートを実施しました(ページ下部参照)。ご協力ありがとうございました。

また、頂きましたご意見より、読む頻度や関心の高さなど、たくさんの方にご愛読して頂いていることに感謝すると同時に、さらなる紙面の向上に努力しなければと感じております。

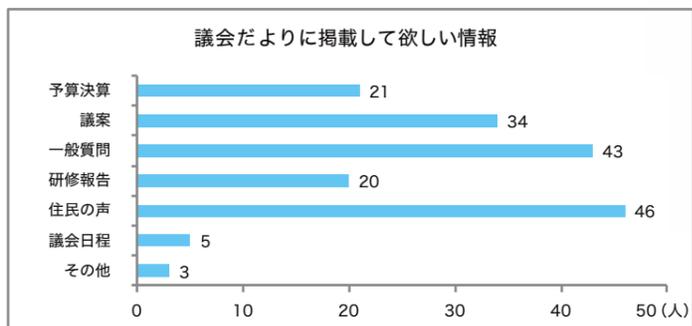
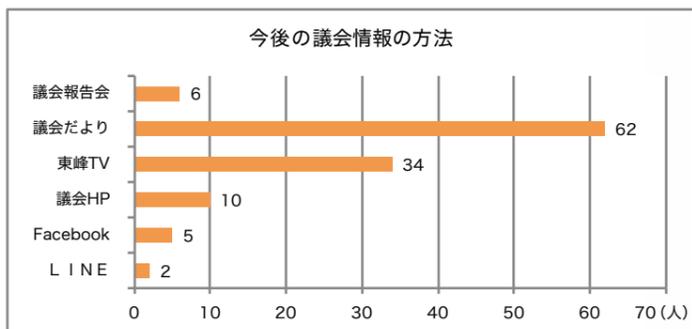
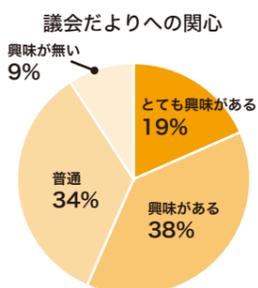
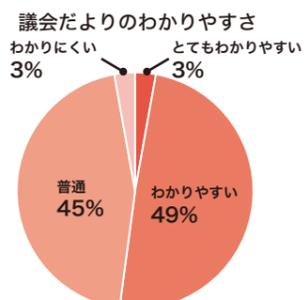
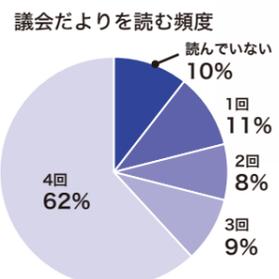
広報委員会では伝わる議会広報に向けてアンケートを参考に協議を行います。今後、3つの取り組みを行います。

伝わる議会広報に向けて

- 1 議会だよりのリニューアル(6月定例会号より)
ポイントを絞り、写真や図・表などを用いて、視覚的にもわかりやすい紙面構成へ。
- 2 東峰テレビの活用<議会ウォッチ>(7月より開始予定)
東峰テレビにて、定例会や委員会、視察研修などの報告を議員がニュース風に行います。
- 3 議会ホームページの作成(村ホームページ更新に合わせて)
今まで議会事務局でのみの閲覧だった議事録や、議会の開催予定など随時公開予定。

アンケート結果

村内の20代から70代までの男女、小石原・宝珠山地区ごとに各年代約10名ずつ無作為に抽出(237名)。76通の回答がありました(回答率32%)。



議員 住民3人には何のメリットもない、2億200万円と利息を請求した裁判を要請したのは村長ではないか。

村長 村民の方は、仕組債について怒りを感じ、訴訟で決着をつけようと判断したのだらうと思う。

議員 東峰村が観光立村として生き残るための施策は。

村長 地域資源の保全などによる美しい村づくりの考え方をベースにして、いろんな観光イベントの開催や人が集まる魅力ある観光立村を目指す。



温泉イメージ

議員 現在日帰りの観光がほとんどなので、長期滞在できる温泉施設が必要ではないか。

村長 今のところ温泉についての考えはない。

議員 温泉源調査する考えはないか。

村長 今は考えてない。

議員 村の人口目標は、平成34年には2100人になっているが、行政の効率化と改革は。

村長 広域圏などの同じような事務については、人員削減に今後も努力していきたい。

議員 全職員の中で管理職(課長補佐以上)が多すぎでは。

村長 合併に伴う影響もあるが、管理職に自覚と責任を持って仕事にあたってもらいたい。

議員 人口減少が進む中、職員数はこのまま維持していくのか。

村長 村の職員採用計画及び定員管理計画に沿ってということになっている。人口は減っても、業務量は減らないので、今の職員数52名を維持していかなければならないと思う。



議員 少数精鋭での行政運営を行う考えは。

村長 庁舎の統合をすれば、職員を削減できるが、現在考えていない。経費の削減には、今後も努力していきたいと思う。



高倉 寛視 議員

住民監査・住民訴訟を住民に要請したのか
——村長 この件に関しては回答の必要はない



梶原文明 議員

村の将来の職員数は
——村長 現在の52名を維持しなければならない

研修報告

学校跡地活用視察

総務常任委員会は学校跡地の有効利用を積極的に検討していくべきだと考え、跡地の活用事例である大分市佐賀関にある旧一尺屋（いっしやくや）中学校を利用した介護老人施設「せきの郷」の視察を行いました。

「せきの郷」は、高齢化と過疎が急速に進み、地域からの要望に応え、平成26年に開設された施設です。

総務常任委員会は今後の課題として、学校跡地の有効利用を積極的に検討していきます。



総工費	2億4200万円（市補助 6700万円）		
校舎	昭和63年建築 RC造3階建て		
1F)	受付事務室、機能訓練室、風呂、調理室		
2F)	老健居室スペース+食堂談話室		
	3人部屋	6部屋	18床
	2人部屋	3部屋	6床
3F)	老健居室スペース+食堂談話室		
	2人部屋	1部屋	2床
	1人部屋	3部屋	3床
	ショートステイ+食堂・機能訓練室		
	3人部屋	3部屋	9床
	1人部屋	1部屋	1床

介護老人保健施設 せきの郷 施設概要

居室スペース

ご意見やご感想をください！

東峰村議会では皆様からのご意見・ご感想を募集しています。



問合せ先 議会事務局

電話 72-2311 FAX 72-2038

編集後記

いよいよ暑い夏がやってきます。梅雨終盤の時期は、集中豪雨等による災害が心配されます。本村では各地区において区長を中心に防災への取り組みが行われ、また、東峰村防災対策協議会では、防災地図の作成や避難場所の指定等、対策に努めています。皆様も安全確保のために今一度のご確認をお願いします。

おわりに、今月より東峰テレビにおいて議会報告として、議会ウォッチを放送しています。

この議会日よりと共によりしくお願い申し上げます。

議会広報特別委員	高橋 弘展
委員長	黒川 隆康
副委員長	長澤 貞義
委員	伊藤 均
委員	柳瀬 弘光
委員長	大蔵 久徳